

令和3年度 学生実態・満足度調査結果

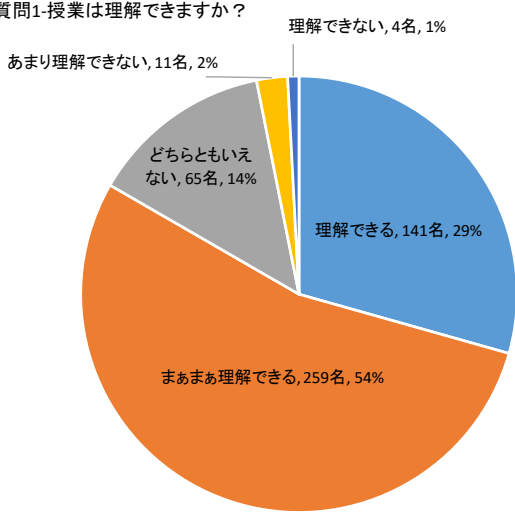
調査期間：令和3年7月28日～8月24日(学年で調査期間は異なる)

調査対象者：第1～6学年 552名

回答者数：第1～6学年 480名

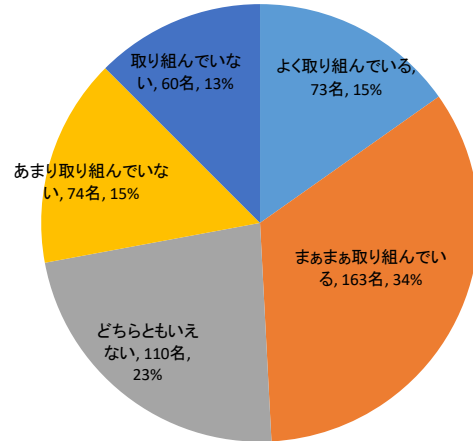
I. 教育について

質問1-授業は理解できますか？



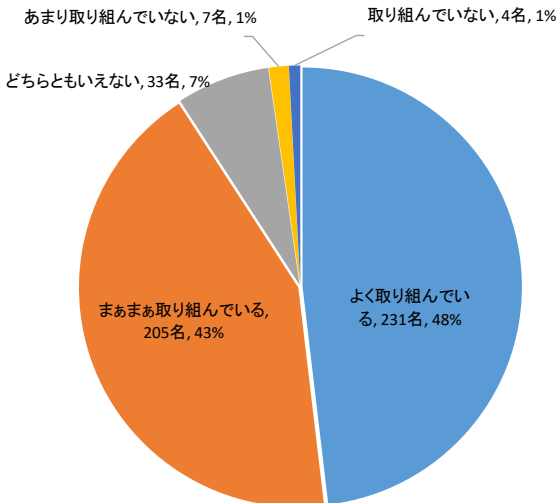
授業の理解度についてはよく理解できる、多少理解できる、合わせて73%となり、7割強の学生は一定の理解ができていると言える。前回はこの値が83%前々回は70%であった。一方で理解できない、あまり理解できないと答えた学生も3%程度おり、どちらとも言えないと答えた14%の学生と共にこれら学生の理解度向上が課題と言える。

質問3-授業の予習に取り組んでいますか？



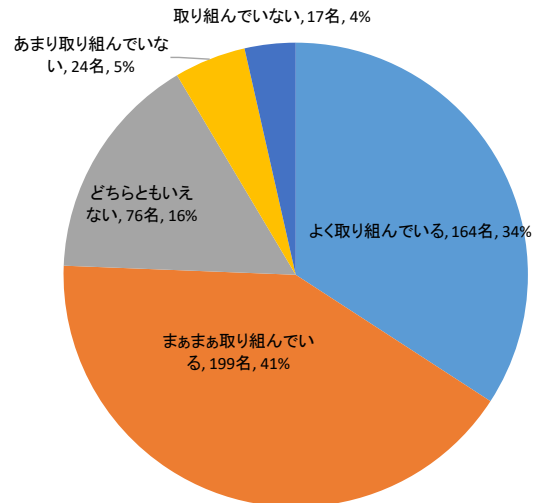
予習への取り組みについては、49%(昨年45%、一昨年44%)の学生が取り組んでいるが、どちらともいえないを含む51%(昨年55%、一昨年56%)の学生は予習を十分に行っていないようである。一昨年から徐々に予習に取り組む学生が増加傾向である。

質問2-授業に真剣に取り組んでいますか？



授業の取り組みについてはよく取り組んでいる、多少取り組んでいるを合わせると91%となった。授業に真剣に取り組むことで授業の理解度向上が図られることを期待できるため、取り組んでいない、あまり取り組んでいない、どちらとも言えないと答えた約1割の学生の授業へ取り組む姿勢を改善させる必要がある。

質問4-授業の復習に取り組んでいますか？

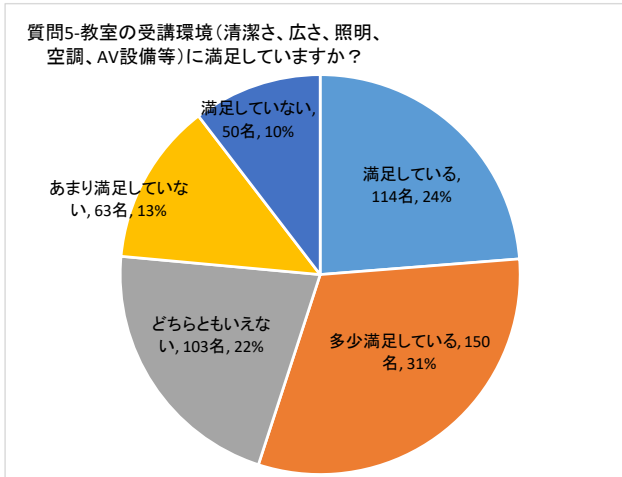


復習への取り組みについては、予習への取り組みと比較すると多くの学生が取り組みを行っているようである(75%が復習に取り組んでいる)。どちらともいえないを含む2割強の学生は復習を十分に行っていないことがわかる。昨年に比べ、復習に取り組む学生が1割ほど増加した点は改善が見られるが、引き続き十分な自学自習時間を確保するために学生の更なる予習・復習の意識付けの向上を図ることが課題である。

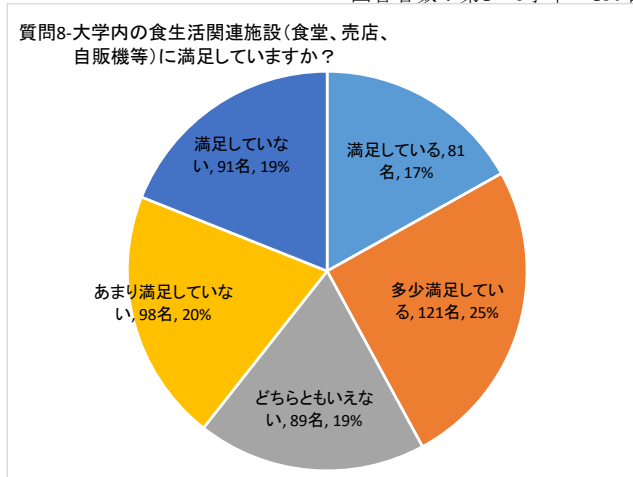
令和3年度 学生実態・満足度調査結果

調査期間：令和3年7月28日～8月24日(学年で調査期間は異なる)  
 調査対象者：第1～6学年 552名  
 回答者数：第1～6学年 480名

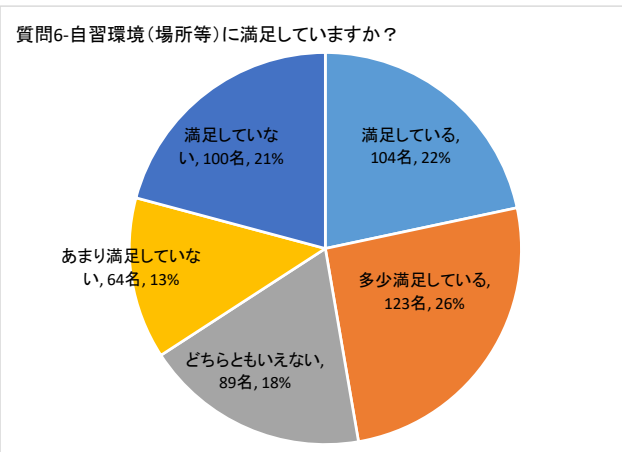
Ⅱ. 大学の施設、設備について



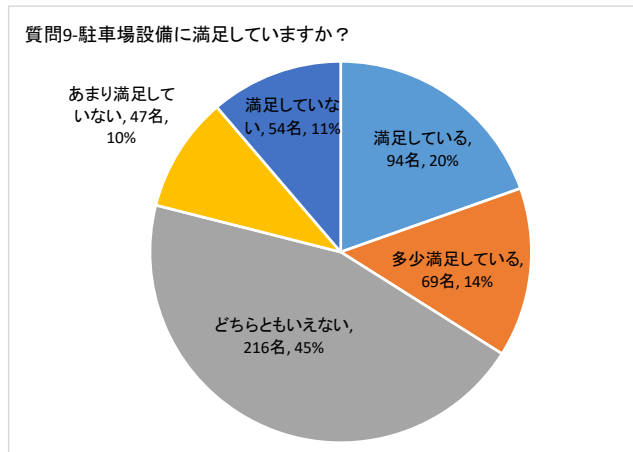
一昨年後期からメインの講義を実施する全教室でプロジェクター等のAV設備を改善した。その結果、一昨年度と満足度と比較すると10%高い結果となった。AV設備の改善は学生満足度を高めるのに一定の効果があったといえる。



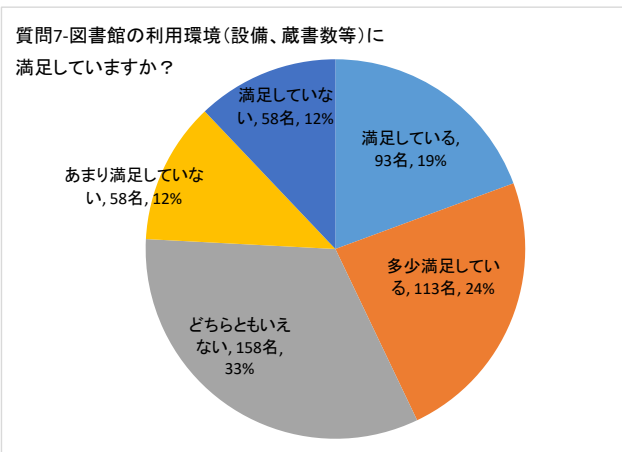
食堂関連については、42%が満足している一方、39%が満足していない結果となった。例年から満足している学生が8%増加した。



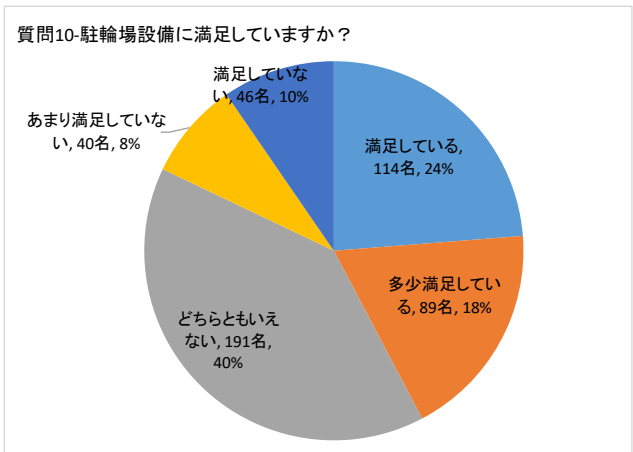
自習環境は、48%が満足している一方、34%が満足していない結果となった。満足していないと答えた結果が一昨年より8%増加した(昨年度より3%減)。満足度が低下している一因として、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により自習環境を縮小した影響が考えられる。



駐車場については、34%が満足している結果となった。満足していない学生は21%となり、昨年度より7%減少した。



図書館については、43%(昨年度39%、一昨年度47%)が満足している一方24%(昨年度26%)が満足しておらず、昨年に比べ満足度は増加したが一昨年よりは低下している。

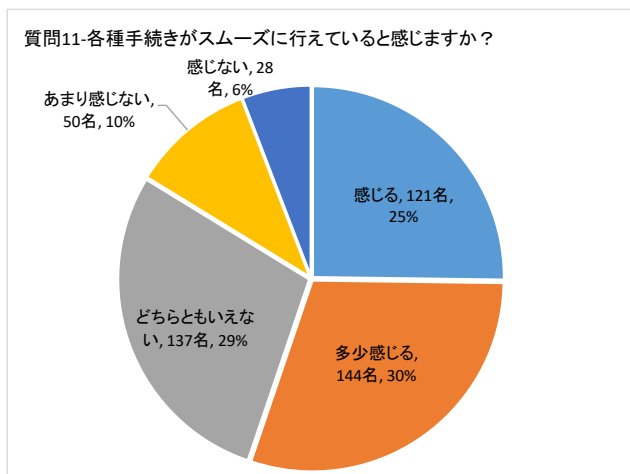


駐輪場について、満足している学生は昨年度の33%から42%に増加した。満足していない学生は昨年度の28%から18%に低下した。一因として、昨年度の新病院建設工事が終了し、より本館に近い駐輪場が使用できることが考えられる。

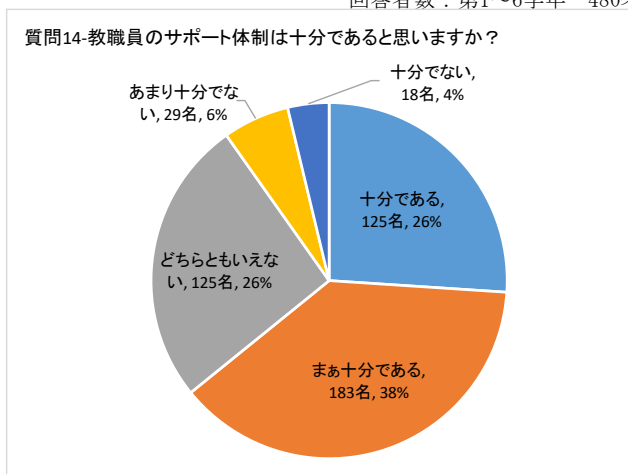
令和3年度 学生実態・満足度調査結果

調査期間：令和3年7月28日～8月24日(学年で調査期間は異なる)  
 調査対象者：第1～6学年 552名  
 回答者数：第1～6学年 480名

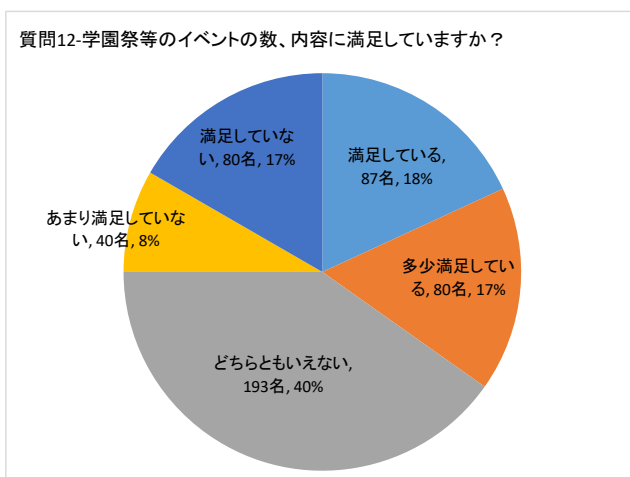
Ⅲ. 学生生活支援について



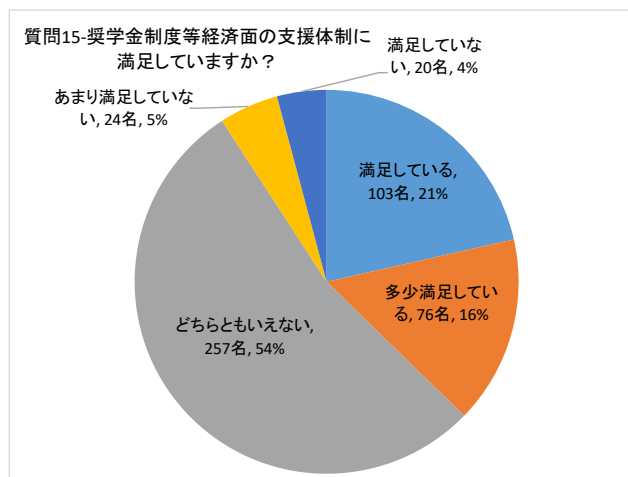
各種手続きについては、5割強が満足している結果となった。(例年より5%増加した。)



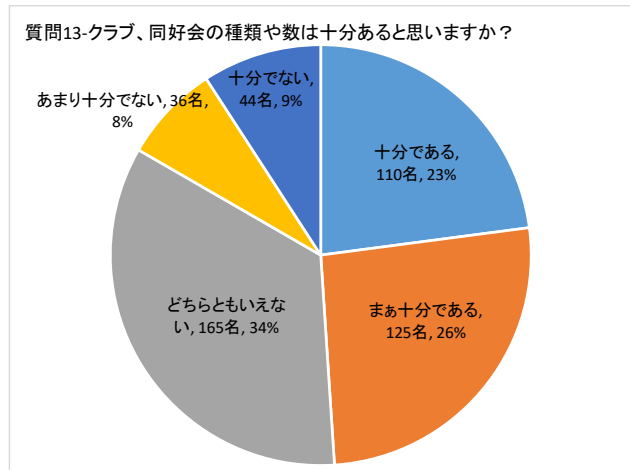
教職員サポート体制については、半数以上が満足している結果となった。(例年とほぼ同様の結果であった。)



学園祭等のイベントについては、35%が満足している結果となった。昨年と同様の結果となった。一昨年からは10%減少する結果であった。新型コロナウイルスの影響により、例年のイベントの開催が中止となっていることが一因として考えられる。



奨学金等の経済面の支援については、37%が満足している結果となった。昨年の34%からは増加したが、一昨年度の47%からは減少する結果となった。

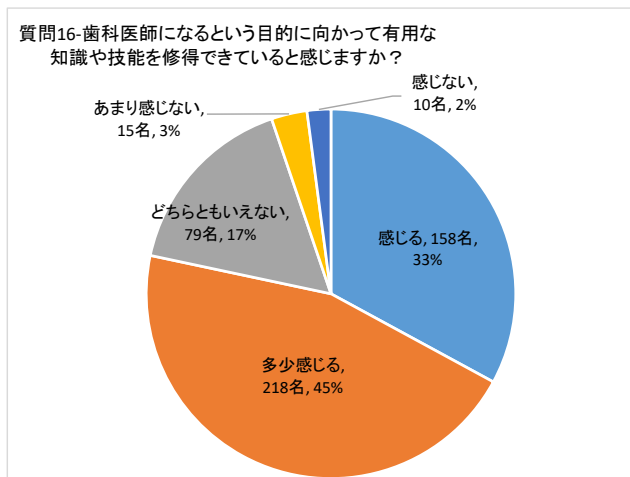


クラブ、同好会の種類や数については、約半数の49%が満足している結果となった。

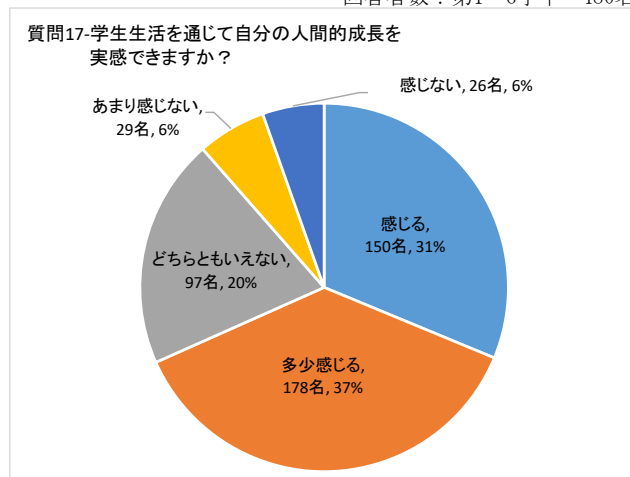
令和3年度 学生実態・満足度調査結果

調査期間：令和3年7月28日～8月24日(学年で調査期間は異なる)  
調査対象者：第1～6学年 552名  
回答者数：第1～6学年 480名

IV. 大学に対する総合的な満足度について



78%の学生が有用な知識等を修得できていると回答した。一方で5%の学生が修得できていないと感じている結果となった。有用な知識や技能を修得できていると答えた学生は一昨年から増加傾向にある。



学生生活を通じて人間的成長を実感できていると感じる、多少感じていると回答した学生が68%となり、昨年から少々増加した。